



ビジネス実務法務検定試験®

2級

3級

	申込期間	試験期間	受験料(税込)
第53回	5月19日(金)~30日(火)	6月23日(金)~7月10日(月)	2級 7,700円 3級 5,500円
第54回	9月22日(金)~10月3日(火)	10月27日(金)~11月13日(月)	CBT方式は、利用料2,200円(税込)が別途発生します。

1級の試験要項については、東京商工会議所検定試験ウェブサイトをご確認ください。

ビジネス実務法務検定試験®とは

企業が求める実践的な法律知識を身につける

ビジネスにおいて業務のリスクを察知し、法的にチェックし、問題点を解決に導く法律の知識は、法務部門に限らず、全てのビジネスパーソンにとって必要不可欠な能力です。そのための基礎となる実践的な法律知識を体系的・効率的に学ぶことができるのがビジネス実務法務検定試験®です。

企業は、なぜ法律知識をビジネスパーソンに求めるのか？

企業には消費者・取引先企業等、さまざまな利害関係を持つ人々があります。企業は、これらの人々の立場や利益を無視することは許されません。ひとたび、企業の不祥事が発生すると刑事責任や損害賠償などの民事責任はもちろん、社会からも厳しいペナルティーを受けます。このような時代だからこそ、企業は法令等を遵守できる能力のある社員を数多く求めているのです。



累計受験者 87万人 多くの企業が「ビジ法」を採用

今、多くの企業が「倫理憲章」や「企業行動基準」を策定し、企業自らが不正や不祥事を未然に防止するための活動を積極的に行っています。そのため、ビジネス実務法務検定試験®を企業内での推奨検定としたり、人事異動や採用の際の能力評価の参考、管理職登用試験に採用する企業が増えています。

試験概要

IBT・CBTの2方式

IBT (Internet Based Testing) は、各自のコンピュータで受験する方式。CBT (Computer Based Testing) は、テストセンターのコンピュータで受験する方式。

試験時間 90分

多肢選択式

出題範囲：各級公式テキスト(2023年度版)の基礎知識と、それを理解した上での応用力を問います。2022年12月1日現在成立している法律に準拠し、出題いたします。

100点満点とし、70点以上をもって合格とします。

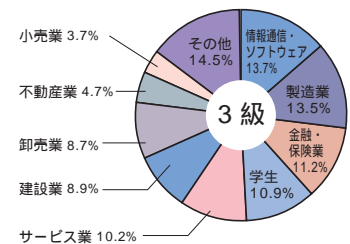
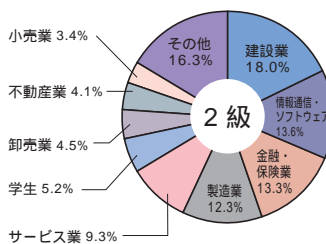
試験の詳細は、検定試験ウェブサイトをご確認ください。

各級の基準

級	レベル
2級	企業活動の実務経験があり、弁護士などの外部専門家に対する相談といった一定の対応ができるなど、質的・量的に法律実務知識を有している。(知識レベルのアップレベルを想定)
3級	ビジネスパーソンとしての業務上理解しておくべき基礎的法律知識を有し、問題点の発見ができる。(ビジネスパーソンとしての最低限知っているべき法律実務基礎知識を想定)

受験者データ

受験者の業種



試験結果

		受験者	実受験者	合格者	合格率
第52回 (2022年10月)	2級	6,392	5,549	2,807	50.6%
	3級	7,955	7,307	5,866	80.3%
第51回 (2022年7月)	2級	5,040	4,249	2,246	52.9%
	3級	7,370	6,261	5,427	86.7%

